

平成 26 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	浜田市交流研修センター（森の公民館）
指定管理者	名称 ： サウンドファイブ夢の音会
	代表者 ： 代表 河野 文影
	住所 ： 浜田市金城町久佐ハ 295 番地 13
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、事業報告書及び指定管理者へのヒアリングにより実施した。 具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載した。
担当部署 (問合せ先)	部署名 ： 金城支所 産業建設課 産業振興係
	電話番号 ： 0855-42-1233
	E-mail ： k-sangyou@city.hamada.shimane.jp

■ モニタリングの総合コメント

当施設は、都市住民との交流、都市と山村の住民活動を促進することで、山村地域の活性化と公共の福祉の増進を図るために設置した宿泊研修施設である。

現指定管理者は、建設後の平成 7 年度から当施設を拠点に、音楽活動を通じた都市交流に取り組んでいる。平成 18 年度からは指定管理者として指名し、さらに平成 24 年度には 5 年間の更新を行っている。

利用状況は、指定管理者のネットワーク、独自イベントの開催、さらに広島市内に音楽拠点を設けるなど、広島を中心に年間 5 千人以上の利用がある。平成 26 年度からは国の補助を受け、他地域を含めた広範囲な民泊受入体制を構築する事業に取り組んでいる。このように、指定管理者が主体的となった積極的な取り組みは評価できる。

施設面では、建設後 20 年近くを経過したことから、平成 25 年度において、バンガロー屋根と入口階段の修繕、空調機器の更新、管理道の舗装を行ったところであるが、今後、設備機器の更新が必要な時期になってくる。

課題はあるものの、条例、例規を遵守し、協定書の内容に基づき適正に管理運営を行っていることから、総合的に判断して良好と評価した。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

- ・天候や季節により利用者数が左右されることから、年間を通して集客できる企画を検討する必要がある。
- ・引き続き近隣の観光施設と連携し、利用者数の拡大を図る必要がある。
- ・国の事業期間中に民泊の受入体制、メニューを構築する必要がある。
- ・利用者数の拡大に伴い専従のスタッフの配置が必要と思われるが、そのためには増収を図り、さらなる運営体制の整備が必要である。

I 基本的な考え方

① 目的、公平性、効果等への所見

都市住民と地域住民との交流を通して、山村地域の活性化と公共の福祉の増進を図ることを目的に、公正性の観点も踏まえ主体的・自主的な施設運営が行われている。

広島をターゲットに、他施設とは異なる利用層を集客していることは、事業効果と評価できる。より多くの利用者を市内周遊・宿泊につなげる必要がある。

運営にあたっては、条例や協定書を遵守しており、適正な管理運営が行われている。

II 業務内容

① 事業への具体的取組み方について

指定管理者の構成員のほか、ネットワーク会員の協力、ふるさと定住財団・ツーリズム協議会などとの連携、当施設を含めた地域資源を活用した独自の取り組みが行われている。(⑤参照)

② 施設の運営体制や組織について

43名で構成されるサウンドファイブ夢の音会が指定管理者となり、管理運営体制は構築されていると言えるが、実際の対応としては、電話での問い合わせは転送電話、施設の開閉は、近隣に居住するメンバーが随時行っている。

今後、利用者が増大することや、多様なイベントを展開するうえでは、常勤スタッフを配置する必要がある。

③ 適切な事務や経理について

施設管理に関わる事務については、条例や協定書に基づき適正に処理されている。

④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について

緊急連絡網、危機管理マニュアルが整備され、簡易宿泊施設としての防災対策も実施している。

⑤ その他業務内容について

- ・森の中のマーケットを開催し、県内外から30店舗が参加して、2日間で1,500人が集うイベントとなった。
- ・島根県及び広島県のALT（外国人教師）交流会を開催し、2県から50名が参加した。宿泊や食事は、近接のかなぎウェスタンライディングパークと連携し、相乗効果を図っている。
- ・国の補助事業を受け、小学生100名を民泊で受け入れる体制構築に取り組んでいる。

施設概要及び実績報告書

1 施設概要

施設名	浜田市交流研修センター（森の公民館）		
所在地	浜田市金城町久佐ハ 295 番地 13		
開設年月	平成 7 年度		
設置条例	浜田市交流研修センター条例		
設置目的	山村地域が持つ自然環境を生かした都市住民との交流、ふれあい及び都市情報の受信並びに山村情報の発信等の市民活動を推進し、山村地域の活性化と公共の福祉の増進を図ることを目的として設置。		
施設の概要	敷地面積	6,186.00 m ²	
	延床面積	研修棟 222.40 m ² バンガロー（2棟） 41.40 m ² /1棟	
	施設内容	研修棟、バンガロー2棟、屋外ステージ、屋外トイレ	
	事業内容	都市住民との交流事業、学校等の宿泊研修	

2 運営実績

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
開館日数	365 日	365 日	365 日
開館時間	8:30~21:00	8:30~21:00	8:30~21:00
宿泊	13:00~10:00	13:00~10:00	13:00~10:00

3 利用実績

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
延べ利用者数	4,418 人	5,000 人	5,435 人
利用料金収入	1,942,500 円	2,500,000 円	3,219,044 円

4 収支実績（円）

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
収入			
利用料金収入	1,942,500	2,500,000	3,219,044
繰入金	100,000	100,000	0
負担金	205,083	200,000	6,944
諸収入（貯金利子等）	4,323	8,518	167,871
繰越金	349,846	301,482	349,846
収入計	2,601,752	3,110,000	3,743,705
支出			
管理費	1,255,018	1,550,000	1,201,558
自主事業実施経費	384,712	500,000	1,120,487
償還金	200,000	0	0
施設整備費	460,540	350,000	323,826
予備費	0	710,000	700,000
支出計	2,300,270	3,110,000	3,345,871
収支差引	301,482	0	397,834